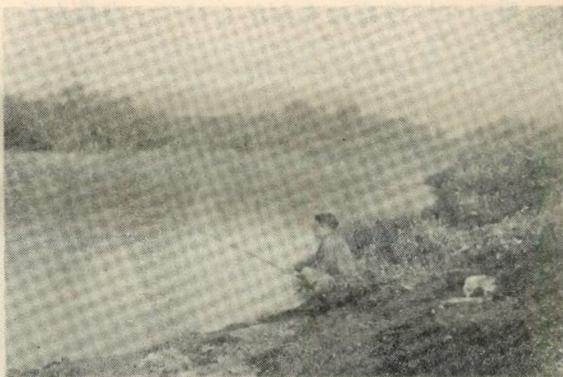


市政ニュース

昭和47年6月1日 281号
毎月1日・15日発行 一部4円
発行所 五所川原市役所



世の中のさわぎも雑念もここにはない
川は悠々と流れるのみである
よしきりが朝露をふるわせて
けたたましい声をはりあげる
それがいつそう静寂を強調する
無念無想に糸を垂れて
こころの憩いのひとときを過す
ふんまんもいらだちもいつの間にか
なにごともしなかつたように消えてゆく
赤い浮子がびくりと動き
川面に小さな波紋がひろがる

全国初の施設

国連青少年の家

六月一日スタート

市民の国際感覚を養う目的で全国初の施設として市内末広町に設置が決まった「国連青少年の家」は、六月一日開所式を行ない業務を始めます。

「国連青少年の家」は、とくに青少年の国際理解と地域活動の推進をはかり教育と文化の発展に寄与するねらいで、四月早々から準備をすすめていたものです。

整備の終わった国連青少年の家には事務室のほか、あわせて、三十人収容できる研修室二室、二十人宿泊できる宿泊室もあり、三人の職員が常駐しております。



て同青少年の家では、市内の青年会議所、JRC(日本赤十字少年団)ボーイスカウト、ガールスカウト、

ロータリークラブ、ライオンズクラブ、国連協会五所川原支部など、国際関係団体の例会や研修会を中心に利用されます。同青少年の家では、今後「外語教室」を開いたり外国から帰った人を講師に招き映画やスライドで「外国を紹介する夕べ」の催も計画しているほか、外国旅行の窓口を開いてとくに青少年の海外派遣の紹介、推せんを行なっていきます。完成した所内には国連加盟の国旗を掲示しているほか「佐藤尚武」「外国関係」の資料室を併設し、玄関前には国連旗と国旗、市旗を常時掲揚して国連ムードを盛りたてます。国際知識を高めるためにも市民の皆さんは気軽にお立ち寄りくだるよう望んでおります。

今年も楽しい旅行

善銀で旅費を助成

善意銀行五所川原支店は生活扶助家庭の児童、生徒にこしもしも楽しい旅行をしてもらおうと費用の一部として七十四人に総額十六万一千円を払い出します。市内の生活扶助家庭の児童、生徒は七十四人おります。当支店では、修学旅行

ロータリークラブ ブピアノ寄贈

五所川原ロータリークラブ(菊池清助会長)はこのほど、市教育委員会にブピアノ一台を寄贈しました。贈呈式には市長も出席、三三七三(みなみ)ママさんコーラスのメンバーがさつそく感謝をこめ美しいハーモニイを披露しました。



シーズンに入り旅行費用の一部として助成するもので市民の善意にもとずき子託された子託金のなから払い出します。払い出し金額は児童館、保育所がひとり当り五百円で七千円、小学校がひとり当り一千五百円で四万二千円、中学校がひとり三千五百円で十一万二千円をあわせて十六万一千円です。修学旅行シーズンに入った五月中旬から六月なかばにかけ学校や保育所ごとに支払われます。

たちが、よろこぶ共同炊事

市長、田植と共同炊事をはげます

野良での食事はまたかくべつ、市長も舌つづみ



みなさんがんばってください、激励する市長一行



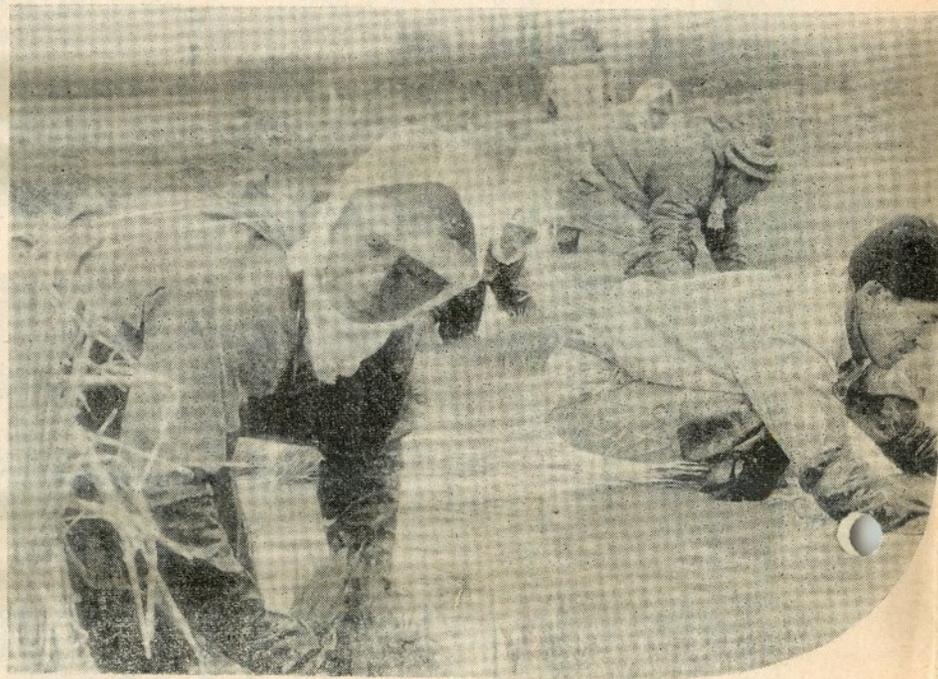
澄んだ空、早苗を植える手もはずむ

主婦

○：くづついた空模様もようやく晴れ間をみせた五月二十三日、市の田植と共同炊事の激励班が農村一帯を巡り励ました。

○：集会場や公民館をあてた共同炊事場では、あねさんかぶりの主婦やおばあさんたちが包丁さばきもあざやかに、その朝買い入れたばかりのホッケや山菜を手早く料理「台所仕事の手間もはぶけ、うまくて栄養ッコモ満点」と受けていた。

○：昼食どき、田圃のあぜに円陣を組んだ農家の人々は、佐々市長ら一行の激励を受けるとコップ酒をさし出し「良質米づくりにがんばります」と大喜び。



苗の伸びがよく、はかどります。苗とり作業もまた楽し



③
栄養満点のおいしい料理作りに主婦たちもよねがない



ことしも豊作を、一本一本植える苗に願いをこめて